

時津町議会議員選挙 立候補雑観



時津町議会議員

なか はら

ゆう 子

中原

「資金なし、知名度なし、町内での支えなし」の女性がなぜ立候補したか？

私は、若い頃結構町おこしに関心がありましたが、政治には全く関心はありませんでした。私が、政治に関心を持つようになったのは、5年前、環境問題に関心を持つようになってからです。活動を始めるとその全てと言って良いほど、役所に関係があります。何をするにも役所の許可が要ります。それが、私のような一市民の言う事は到底受入れてもらえないのだという事を嫌と言うほど経験いたしました。

ところがある要望書を役所に持っていくとき町議についてきてもらった折り、簡単に町長のところまで話しが通ったし、回答も文書でいただきました。自分ひとりで行った時と何たる違い！町議になるとこんなに違うのだと実感しました。若い頃、町おこしのようなことをしていた時に、少しでも町議にならないかという話もありましたが、自分が全く関心がなかったので、辞退していました。けれど、今回、このことも有り、友人の薦めも有って立候補してみようかなという気持ちになりました。

まず、夫に相談いたしました。やはりなんと言っても何かにつけ、一番協力をしてもらわなければいけない存在です。相談をした結果、「やってみたら良いよ。」という返事でした。次に、町内での協力者が要りますので、私に町議になることを薦めてくれた友人と共に、ある人のところへ相談に行きました。その人と良く相談をしたところ、二人の女性を紹介していただきました。この三人が居なかったら、私の立候補はなかったと思います。しかしながら、彼女等は皆、地元の人で表に出て行動するのは都合が悪い立場の人たちでした。また私は、地元出身でもないし、もちろん兄弟姉妹・親類縁者はいません。支援団体もありません。この時点で、なにひとつ、バックアップをしてもらえないものではありませんでした。また、私は活動はほとんど長崎市内でしていたので時津町内では知名度もほとんどありません。

ただあったのは、どうにかして町議になり子どもたちに安心・安全な社会を手渡したい！という思いと、この時津町は女性議員が一人も居ないので、女性議員が欲しいという町民の声がチラホラ聞こえていた事です。(なってみてから実感したのですが、時津町では女性議員が本当に切望されていました。それだけに私は責任重大です。)しかし、時津町はとても保守的なところで女性が表立つという事がとても難しい地域です。また、しがらみも多く一人の議員を表立って応援するという事は大変難しい事でした。それで、結局私の後援会名簿に名前を書ってくれた人は、あまりおりません。「あんたを応援するけど名前は書かんけん」という人ばかりだったのです。この反応は選挙日前日まで

変わりませんでした。当選ラインが500票なので、後援会名簿は少なくとも1000人分は必要と言われていたのに、その半分も集まっておらず予想もできない状態でした。それでも、選挙期間に入り選挙カーで回っている中、カーテンの陰から手を振ってくださったり、家から出て来て握手をしてくださったりベランダから手を振ってくださったり、応援をして頂き大変心強く感じました。

公約は5つです。

1. 障害のある人も、お年寄り誰もが安心して豊かな老後がおくれる町づくりをします。
2. 託児施設・病気の子どもの預かる施設などを増やします。
3. ゴミの再資源化を促進します。
4. 女性の自主的な活動やライフワークづくりを支援します。
5. どのような政党にもとらわれず、この町に生活するものとしての立場で考え、発言し、町民の代弁者として活動をすすめていきます。

どうして私が当選できたか？

それは一重に、私を陰になり日向になり支えて応援してくださった方々の賜物です。表にでる事はなかったけれど地道にズーっと私のことを宣伝してくださったからでしょう！口コミとはすごいもので、島原の知り合いに私のことを母が話したら、長崎市内で頼まれたと仰られたそうです。一人一人の私への応援の塊が、今回の私の当選をもたらしたと考えております。

これから立候補を考えている方へ

まず、どうして自分は議員になりたいのか？を明確にする事です。そして、それを本当に理解してくださる方を数名、見つけます。そしたら、迷わず諦めずに突き進む事です。本人の気持ちがいかにしてないと、周りがとまどうからです。

それだけ揃うと後は大丈夫です。私の場合、時津町内には親類縁者一人もおりません。支援団体も何もなく、お金も充分には持ちませんでした。看板も選挙カーもチラシも全部手作りしました。ポスターだけは自分でできずに、プロに頼みましたが、デザインは自分でしたし、写真は後援会長夫妻が写してくれたものを使いました。が、もしもっと徹底するならば、もっとお金をかけずにできたと思います。何もなくても、あなたを心から応援してくれる人が、そばに数人居るならば必ず当選できると思います。本人の努力と熱意、それと周りの熱意が合わさった時にとてすごいパワーになるのです。

実生活者である女性が議会で意見を述べる事はとても重要な事だと思います。どうしたら住み良い町づくりができるか、どうしたら安全・安心な社会を子供達に引き継いでいく事ができるかを、みんなで考え提案していきたいです。まだまだ女性議員の数が足りません。1歩踏み出さなければ前には進みません。踏み出せば必ず道は開けます。どうか勇気ある第1歩を踏み出してください。待っています。

女性首相の面目躍如！

ニュージーランドの平和政策は不変 クラーク首相への支持も急上昇

2003年3月20日、米軍によるイラク空爆で始まった戦争は、世界中にさまざまな影響を与えてきました。不安が広がる世界情勢のなか、この戦争に対して、ニュージーランド政府と国民はきっぱりと反戦の姿勢を貫きました。

ご存知のように、NZはヘレン・クラークという女性首相です。彼女は、「国連安保理の承認がない戦争には反対する」との態度を貫き、3月下旬の世論調査では、支持率が60%から74%へ大きく伸びました。彼女は「国民は私の政策を理解してくれている。満足だ」と、地元紙のインタビューに答えています。イラク戦争開戦前、アメリカは「合衆国の開戦を支持する国のリスト」を発表しました。そのリストでは、旧ソ連の東欧諸国が突出し、もともと「西側、或いは同盟国側」といわれた国々の支持はそれほど多くはなかったのです。まさに成熟した国家を感じさせます。

「男は決断、女は優柔不断」、「男は好戦的、女は平和志向」などと、旧来のジェンダーにとらわれた見方で、国の緊急時の意思決定には向かないと非難されている女性が大国に橋突いてでも「平和を決断」し、国民に支持されているのはどうしてでしょうか。そこには人間としての叡智は性別ではないことを教えてくれるものがあります。

私たちは、知恵と勇気と決断力を備え、やさしさとユーモアを持つ女性を今までの人生でたくさん見てきました。歴史的、社会的に作られてきたジェンダーにとらわれることなく、私たちが生きやすい社会を求めてその政策を実現していこうとする女性をたくさん政治の場に送り出していきましょう。

♡ クラーク首相

女性の声を市政に！

4月に行われた地方選挙で長崎市に隣接する時津町では16年ぶりに女性町議が誕生し、掲げた公約の実現化をめざして初議会にも挑み一般質問をいたしました。

その人が前頁にある“中原裕子”さんです。一般質問では、女性だけにしわ寄せされた子どもの問題として公約2を具体的に取り上げて質問し、対側に並ぶ行政側も熱心にメモを取っていました。働く、或いは働こうとする若い母親たちの代弁者として、もっともっと女性を議会に！と痛感しました。



～ テマリ通信より

太田衆院議員の発言に抗議します！

新聞報道（6月28日付毎日、西日本新聞）によれば、6月26日鹿児島市であった公開討論会で、早大サークルによる集団婦女暴行事件が話題になったとき太田誠一議員が「（婦女暴行する人は）まだ元気があるからいい。正常に近いんじゃないか。」と発言したということです。この発言はレイプ被害者というに及ばずすべての女性の人権を著しく傷つけるとともに女性の尊厳を貶めるものであり、国政を預かる議員の発言としてはその非常識さに驚くばかりです。

性暴力は凶悪犯罪です。この発言は発育途上にある青少年のモラルを低下させる要因にもなり、計り知れない影響を与えるものと思います。

「男女共同参画社会基本法」の施行や女性に対する暴力のない社会を目指して官民挙げて協力している今日、国民を代表する国会議員が性暴力を容認し少子化問題とすりかえるような発言をすることは断じて許されません。

私たちは太田議員に議員の資格はないと考えます。一刻も早く議員を辞めることを要求します。

2003年6月28日

ぼってん・うーまんの会

事務局：

津田尚美

緊急 FAX ！

Tel & FAX

私たちは太田議員の発言を新聞記事で確かめ、すぐ太田衆議院議員事務所に宛てて上記の抗議文を出しました。森元総理の問題発言はまだ正確に内容が出ていなかったため、出していないが本当に深刻な問題です。なお「ながさきの教育通信」に2人の発言にたいしての、ぼってん・うーまんの会の座談会が載せられる予定です。